

SAGA2024式典基本構想



SAGA 2024

国スポ・全障スポ
新しい大会へ。

すべての人に、スポーツのチカラを。

SAGA2024式典基本構想策定にあたって

スポーツにはさまざまなチカラがあります。

スポーツ。それは、人が生き生きと暮らすための大きな一つの要素。スポーツは、楽しいからこそ人々が自ら求めて取り込もうとしてきた人類共通の文化です。競技をする人だけでなく観る人、支える人もいろんなことを学ぶことができ、そして、一歩前に進む勇気を与えます。青少年の教育として、健康を維持増進するものとして、さらには生きがいとして多くの人々に親しまれています。また、スポーツを通じた地域社会の活性化、国際交流、経済の発展など、スポーツの社会的な価値はグローバルに広がっています。

そのような中、佐賀県では、「SAGA スポーツピラミッド (SSP) 構想」を掲げ、トップアスリートの育成とともに、“する”、“育てる”、“観る”、“支える”といった、それぞれのスタイルで誰もがスポーツを楽しむ文化の裾野の拡大を図り、スポーツの力で世界に誇れる人づくり、地域づくりを進めています。

2024年の佐賀大会より「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」に名称が変わります。佐賀大会では、愛称「SAGA2024」、メインメッセージ「新しい大会へ。すべての人に、スポーツの力を。」を掲げ、名称が変わるだけでなく、大会をより良いものに変えていきたい、スポーツの魅力をより多くの人に伝えたい、そしてスポーツの力で世界に誇れる人づくり、地域づくりにつなげていきたい、との思いを込めて取り組んでいます。

開・閉会式をはじめとする式典は、こうした佐賀県の思いを県内外に発信できる絶好の機会です。そこで、この思いを具体化し、式典全体の共通指針としての基本的な方向性を明らかにするため、「SAGA2024 式典基本構想」を策定します。

目次

CONTENTS

P3

1. 式典の概要

P6

2. 式典の構成

P8

3. 式典準備のスケジュール

※2024年に延期される前のスケジュールです。

最後

大会の愛称・メッセージ

1

式典の概要



1 大会の式典の歴史(国体の開会式から)

戦後間もない1946年に第1回目の大会が開催されて以来、国民体育大会は、国民スポーツの振興とスポーツ文化の発展に貢献してきました。

式典に目を向けると、第1回大会の時はまだ、GHQにより集团的行進、国旗の掲揚や国歌斉唱はご法度とされていて、開会式のプログラムは、「開式宣言、会長挨拶、来賓祝辞、選手宣誓、閉式宣言」で、現在のものと比べると簡素なものであったことがうかがえます。

第2回大会(1947年)では、マスゲーム(集団演技)や大会旗の掲揚を始めとした多くの式典プログラムで構成されるようになります。第1回大会ではかなわなかった選手団の入場行進はこの大会から実施できるようになり、堂々たる入場行進の形は現在まで受け継がれています。第10回大会(1955年)までには大会の開催基準要項がつくられ、それまで慣例として実施されていた式典の項目が明文化されました。開催県が主催に加わるようになったのもこの大会からで、式典がより郷土色豊かになっていったと想像できます。また、第12回大会(1957年)では炬火リレーが初めて行われ、この大会以降、式典を通した大々的な機運醸成のイベントとして確立していきます。さらに第16回大会(1961年)では国体が法的に位置づけられ、いよいよ名実ともに国民のための大会となっていきました。

このように回を重ねるごとに、式典プログラムは少しずつ充実し新しいものを取り入れながら、現在の式典の形ができあがっていきました。

開催県の威信をかけ、華美な式典が主流となった時代もありましたが、現在は、簡素な式典運営を基本とし、積み重ねられた形は継承しつつ、開催県の趣向を生かしたものが展開されています。

そのような中、「国体」が「国スポ」に変わることを契機に、新しい「国スポ・全障スポ」の式典もいよいよ新たなステージを迎えます。

2

大会の式典の意義・役割

式典は、大会の始まりと終わりを告げるセレモニー。

厳肅な雰囲気が漂う中、大会に関わる人々がそれぞれの想いを胸に一堂に会し、お互いに敬意を表する場です。

開会式では、大会の成功と選手をはじめとした関係者の活躍を祈念し、閉会式では大会の成功と健闘を称え合います。

また、主催者の大会に対するメッセージを発信する場でもあります。これまでの大会では、開催県の歴史や郷土芸能などの文化の発信を通じて、全国から集まった選手などの歓迎が行われてきました。



若楠国体（1976年）の歓迎演技の1コマ

3

これまでの式典の振り返り

これまでの式典を振り返ると、回を重ねるごとに、新しいものを取り入れながらその形は前例となり、引き継がれてきました。その積み重ねには敬意を表する一方で、

- ▶「既成概念にとらわれすぎているのではないか」
- ▶「形骸化しているものもあるのではないか」

そんな疑問を投げかけてみたいのです。

式典の本来の意義や役割を見つめなおし、これからのスポーツ大会の時代にふさわしい式典の形を考えていきます。



SAGA2024 の式典の使命

スポーツは、世界共通の人類の文化です。

「スポーツ」には、「体育」が持つ教育的な側面のほか、エンターテインメント性の要素や観る楽しみ、支える喜びといった文化的な概念も含んでいます。すべての人がスポーツに親しみ、スポーツを文化として受容していけば、生活が明るく豊かに、そして活力ある共生社会が実現できるものと期待しています。これらを象徴するものとして、2024年に「国民体育体大会」が「国民スポーツ大会」に名称が変わることが挙げられます。佐賀県ではこれを大きな転換期として捉え、「スポーツ」という言葉にこだわって新しい国スポ・全障スポを創っていきたいと考えています。

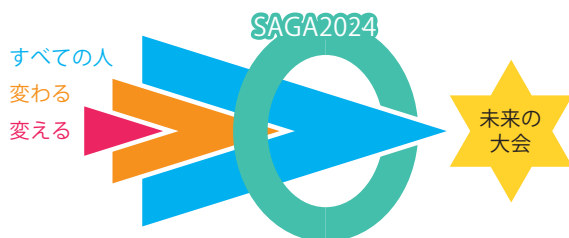
スポーツには、「感動する」「魂が揺さぶられる」「一歩前に進む勇気もらえる」といった大きなチカラがあります。一方で、様々な理由によりスポーツを楽しむことができない人がいることもまた事実です。年齢、性別、障害の有無によるものや、災害等の影響で、スポーツに触れたくても触れることができない人がいることを忘れてはいけません。これらすべての人にスポーツのチカラを届ける大会であってこそ、国民のための大会であり、そのきっかけを2024年の佐賀が握っているのです。

SAGA2024はこれから続いていく新しいスポーツ大会の始まりです。式典の形が、これまで（戦後間もない昭和の時代から平成、令和の時代へと）受け継がれてきたように、SAGA2024の式典の形は、新しい大会の未来へと受け継がれていきます。

新しい大会の式典という形を通して日本の隅々にまでスポーツのチカラを届けることができれば、きっと未来の大会でも、すべての人にずっとスポーツのチカラを届け続けることができると信じています。そのために、「佐賀から変える。佐賀から変わる。式典のカタチ。」

そんな強い意志と夢を胸に、新しい大会の新しい式典を創っていきます。

新しい式典のカタチのイメージ



<変える例>

- ・選手団が楽しめる新たな入場シーンの創出
- ・すべての人に届く式典音楽の導入
- ・5Gを活用した映像コンテンツなどの充実
- ・国スポ・全障スポの融合をイメージした演出

<変わる例>

- ・すべての人の式典に対する印象が変わる
- ・式典の取組手法が、次の大会へと継承される

2

式典の構成



SAGA2024 の開・閉会式

次の4つの開・閉会式の位置づけを踏まえたうえで、考えられるプログラムを組み合わせたり、かけ合わせたりして SAGA2024 の式典を形にしていきます。

国スポ総合開会式

SAGA2024 の日の出とともに
スポーツのチカラが一つになり、
新しい国スポ・全障スポの起点となる

国スポ総合閉会式

国スポから全障スポへと継承される
スポーツのチカラの輝きで、すべての人の想いが
融合し、佐賀の躍動が加速する

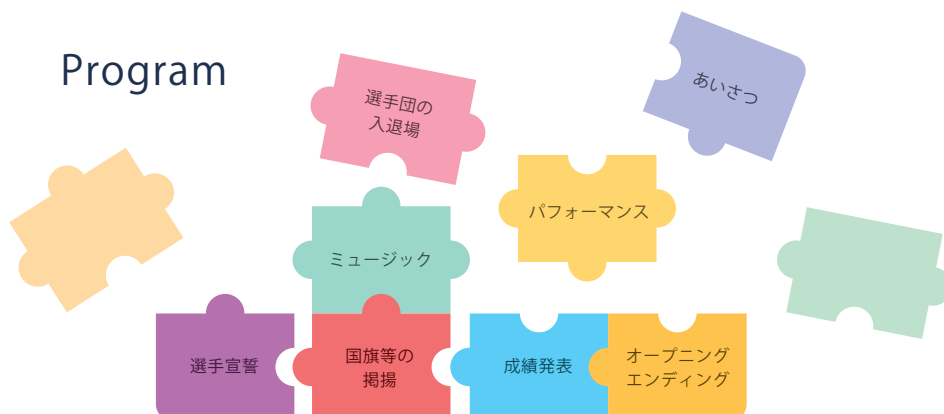
全障スポ開会式

国スポのスポーツのチカラは、
障害者スポーツ文化との調和により
多彩なスポーツのチカラに転じる

全障スポ閉会式

スポーツのチカラが次の大会へと引き継がれ、
SAGA2024 を結ぶことで、
国スポ・全障スポの歴史が動き出す

Program



参考 開閉会式の関係規定

■日本スポーツ協会の開催基準要項：§ 20

「60 分以内で、できるだけ簡素なもの」とされ、「下記項目」が規定されています。

| 国スポ総合開会式 | 国スポ総合閉会式 |
|---|---|
| 開会宣言／国旗掲揚／大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚／開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗掲揚／天皇杯・皇后杯返還／大会会長あいさつ／文部科学大臣あいさつ／天皇陛下お言葉／炬火点火／選手代表宣誓 | 成績発表／表彰状授与／天皇杯・皇后杯授与／大会会長あいさつ／スポーツ庁長官あいさつ／開催県旗、参加都道府県旗・会場地旗降納／大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納／国旗降納／炬火納火／国体旗引継／次期開催県旗掲揚／閉会宣言 |

■日本障がい者スポーツ協会の開催基準要綱：§ 15

「できるだけ簡素なもの」と規定され、過去の大会は下記のプログラムで構成されています。

| 全障スポ開会式 | 全障スポ閉会式 |
|--|--|
| 開式通告／役員・選手団入場／開会宣言・大会会長あいさつ／国旗掲揚、大会旗・開催県旗・会場地旗掲揚／文部科学大臣あいさつ／皇族のおことば／炬火入場・点火／選手代表宣誓／歓迎演技／閉式宣言 | 開式通告／大会会長あいさつ／スポーツ庁長官あいさつ／皇族のおことば／大会旗・開催県旗・会場地旗降納／国旗降納／大会旗引継／炬火納火／閉式宣言 |



2 炬火(きょか)

新しい大会の炬火については、採火・点火方法などを多方面から検討していきます。



3 国スポの各競技会の表彰式

実施主体である市町・競技団体が協議の上、実施していきます。

参考 表彰式の関係規定

■日本スポーツ協会の開催基準要項：§ 20、同細則：§ 8

「できるだけ簡素なもので、概ね下記項目」と規定されています。

| 表彰式項目 |
|---|
| 成績発表／表彰状授与／大会会長トロフィー授与／競技会会長閉会のあいさつ／会場地代表歓送のことば／国旗降納／大会旗・実施競技団体旗・会場地市町旗降納 |

3

式典準備のスケジュール

※2024年に延期される前のスケジュールです。

| | 2019～2020年 (令和1～2年度) 開催4～3年前 | 2021年 (令和3年度) 開催2年前 | 2022年 (令和4年度) 開催1年前 | 2023年 (令和5年度) 開催年 |
|------------------|---|---|--|--------------------------------|
| 全体計画 | 式典基本計画 策定 | 式典実施計画 策定 | 式典実施要項 策定 | 各種練習会・総合リハーサル実施 SAGA2023本大会 |
| 式典運営 | <ul style="list-style-type: none"> 式典の概要 式典全体の基本的な考え方 競技会表彰式基準要項 炬火の基本的な考え方 | <ul style="list-style-type: none"> 実施本部体制 総合開・閉会式次第(荒天時計画含む) 通信システム及び会場使用計画の概要 参加者スケジュール 選手団入退場計画(参集範囲の決定) | <ul style="list-style-type: none"> 式典実施計画の修正及び実施計画策定以降の確定事項追記 | |
| オープニング エンディング | <ul style="list-style-type: none"> オープニングの基本的な考え方 エンディングの基本的な考え方 | <ul style="list-style-type: none"> オープニングの構成、時間、内容 エンディングの構成、時間、内容 | <ul style="list-style-type: none"> オープニングの演目、出演団体、人数 エンディングの演出、出演者 | |
| 式典ミュージック | <ul style="list-style-type: none"> 式典音楽の基本的な考え方 場面ごとの使用曲の考え方 音楽隊編成の検討及び編成基準 | <ul style="list-style-type: none"> 場面ごとの使用曲 作／編曲者名 使用曲演奏形態 音楽隊編成、人数 | <ul style="list-style-type: none"> 入退場行進曲内の曲名 指揮者名 音楽隊出演団体名 | |
| 式典パフォーマンス | <ul style="list-style-type: none"> 式典演技の基本的な考え方 活用素材 展開 | <ul style="list-style-type: none"> 演技構成シーン 出演団体の考え方 出演者総定数 | <ul style="list-style-type: none"> 出演者、人数 演技内容 演出方法 演技用具 服飾デザイン | |



SAGA 2024

国 スポ ・ 全 障 スポ
新しい大会へ。
すべての人に、スポーツのチカラを。